



門田 雅彦
公明党
(40分)

本市における所有者不明土地の取り扱い

問 固定資産税の取り扱いの実態と課題、解決方法は。

答 相続登記が行われるまでは相続人から提出された申告書を基に納税義務者を特定して課税しており、申告書の提出がない場合は戸籍調査等により法定相続人を把



能宗 正洋
誠友会
(40分)

里地の活性化に向けて

問 ①芦田町へ道の駅を新設しては。

②農家民宿事業の実施は。

答 ①新設する場合は事業計画を策定し、国土交通省に登録申請を行う。登録に当たっては、休憩・情報発信・地域連携機能が要件となる。芦田町への新設については

握し全員を納税義務者としている。何世代にもわたり相続登記が行われず、納税義務者の特定が困難となるのが課題であり、これまでも、相続人に対して相続登記の重要性を知らせる文書を送付するなど、周知に努めてきた。

今後、人口減少や高齢化社会の進展に伴い、所有者不明土地の増加が懸念されるが、国において、中長期的な視点で検討され、具体的な解決策が示されると考える。本市としては国の動向を注視しながら、引き続き、市民の皆さまへの的確な情報提供と啓発に努める。

コストや道路の交通量等から施設運営上、将来困難を生じかねないことが懸念される。地域のニーズや要望を聞く中で、現実的にどういったことができるのか、地域と共に具体的検討に入りたい。

②住宅宿泊事業法が今年6月に成立し、来年施行の見通しである。事業実施については、ニーズの把握や運営体制等の検討と併せ、地域の理解や受け入れ体制の確保も重要となる。どのような手法が地域の思いにかなう制度なのか検討したい。



平松 正人
誠友会
(40分)

リノベーションによる再生手法

問 駅前再生にリノベーション手法を導入する狙いは。

答 リノベーションによるまちづくりは、地権者と事業者、そして両者をつなぐ者の三者が協力しながら既存の遊休不動産をこれまでにない新しい使い方で積極的に



藤原 平
誠友会
(85分)

市職員の人事評価制度の運用は

問 人事評価制度の運用状況は。

答 昨年4月から人事評価制度の本格実施を始めた。評価対象期間は4月から3月までの1年間であり、職務上の行動を評価する能力評価と目標の達成度等を評価す

活用し、まちのにぎわい等を生み出す手法で、新たな事業や雇用を連鎖的に生み出すことで早期にエリア全体の価値を向上させ、民間が投資しやすい環境を整えていく。

築切の周知は

問 福山城の遺構である築切を周知する方法は。

答 築切を現状保存し、その一部を当時の姿そのままに見える形で整備すれば、遺構の重要性、価値を市民の皆さまに学んでいただけると考え、今後より一層関心を持つてもらえるよう周知していく。

る業績評価を併せて実施している。初年度は、着実に面談を実施する中で、組織目標等の共有が進むことにより、職員の中には市民の立場に立ち、市民ニーズを的確に捉え、業務に反映しようとする意識や、前例や慣習にとらわれず新しい発想で困難な課題解決にも果敢に挑戦する姿勢が育ってきており、円滑に制度を導入することができた。

引き続き、職員個人の成長と組織力の向上につながる人事評価制度となるよう取り組んでいく。